
一番辛い時、側にいてくれた貴方へ・・・

美花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一番辛い時、側にいてくれた貴方へ・・・

【Nコード】

N5134B

【作者名】

美花

【あらすじ】

ノンフィクション・・・かも？お手紙です。

お久しぶりです。
元気にしていますか？

今日、久しぶりに貴方が部活へ来て、久しぶりに貴方の姿を見てとても嬉しい気持ちになりました。

私にはもう、感情など無いと思っていたのに、貴方の姿を見ただけでこんなに浮かれてしまったのです。

元気にしていますか？

二人で育てていたオデブな猫は、ダイエットに成功しましたか？
ちゃんと部屋の掃除をして、ごはんも食べていますか？

貴方は家事に少しいい加減な所があったので、とても心配しています。

これじゃあ、お母さんみたいですね。ごめんなさい。

貴方は、自分を責めてはいませんか。

貴方はとても優しい人だったから、行かないでと泣き叫ぶ私を突き放したことで罪悪感にかられていたかもしれないね。もしそうではなくて、清々したと思っているなら、それはそれで私は構いません。

ただ、もし、貴方が罪悪感にかられ毎日鬱々と暮らしているなら、私は耐えられません。

確かに、私はあの頃とても大変な時期でした。

虐待を受けたトラウマを心の中にしまいながら、家族との関係も

あまり良くない状態で、いつそ、このまま死んでしまおうかとも思いました。

そんな中、貴方に会いました。

私が誰にも打ち明けなかった秘密や、苦しみを、まだあまり親しくもなかった貴方に話せました。

何故あんなにスラスラと話せたのか、今でも分かりません。きつと、貴方の明るいい心が私のドロドロした黒い感情を溶かしてくれたのだと思います。

貴方はとても明るく、楽しく、優しい心を持っていたから、私は貴方に甘えてしまいました。

貴方には彼女がいることも、知っていました。だから私は安心していました。でも、それは間違いでしたね？

私は、貴方を愛してしまいました。

今まで本気で人を愛したことなんて無かった私は、とても戸惑いました。

この感情は何なのだろう。

何でこんなにも胸が苦しいのだろう。

答えが分からなかった私は、貴方の側にいれば分かるかもしれな
いと思い、貴方の家に通うようになりました。

貴方はいつもいつも快く迎えてくれました。

貴方の優しい表情や、真剣な表情。

子供みたいに笑う姿や、抱きしめてくれた腕の男らしさ。

私は日々貴方に惹かれていきました。

私の一生の中で、一番幸せな時期だったと自信をもって言えます。

しばらくそんな日々が続く中、段々と貴方は疲れていってしま
いましたね。

私が甘えすぎたせいでしょう。

貴方は私に、彼女の事が好きだから付き合えない、と言いました
ね。

確かに間違いではないでしょうけど、それ以上に私の気持ち
が重荷だったのだらうと思います。

正直に言ってしまうと私が傷つくから、そういう風に伝えたので
すね。

私は泣き叫びました。

一人にしないでって

私は貴方がいないとダメだって、そう言って泣きました。

貴方はとても困っていただろうに、私は何て悪い女だったのだろうと今になって思います。今になって、なんて、遅すぎますよね？

本当に、ごめんなさい。

彼女とは、ちゃんと上手くいっていますか？

もう貴方にちょっかいを出すつもりなんてないので、安心して下さいね。

ただ、貴方達は頻繁にケンカ別れをしていたので、少々心配です。相手の気持ちを試すために別れようとするなんて、後で後悔しますよ？

貴方には、幸せになってもらいたいです。

貴方と過ごした数ヶ月で、私はとても変わりました。

笑顔が増え、人当たりが良くなり、家族との関係も改善されたのです。

何もかも全て、貴方のおかげです。

会わなければよかった、なんて、言わないで下さい。

貴方がいてくれたから、私はこんなにも強く、優しくなることが出来ました。

本当に、貴方に出会えてよかった。

貴方が生まれてきてくれたことに、感謝します。
私が今生きていることに関しても、感謝します。

本当に、本当に、ありがとう。

私に幸せを教えてくれて、ありがとう。

もう他に、望むものなんてありません。
こんなにも素敵なものを貰えたから、私はもう十分すぎるくらい
です。

ありがとう、大好きでした。

いつまでもいつまでも

貴方が幸せでいてくれますように

ハナ

(後書き)

読んでくれてありがとう

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5134b/>

一番辛い時、側にいてくれた貴方へ・・・

2010年12月1日07時36分発行